



ヨーロッパの豊かな歴史と伝統を継承した高級ホテル

ご結婚披露宴・各種ご宴会・ご宿泊
好評予約承り中



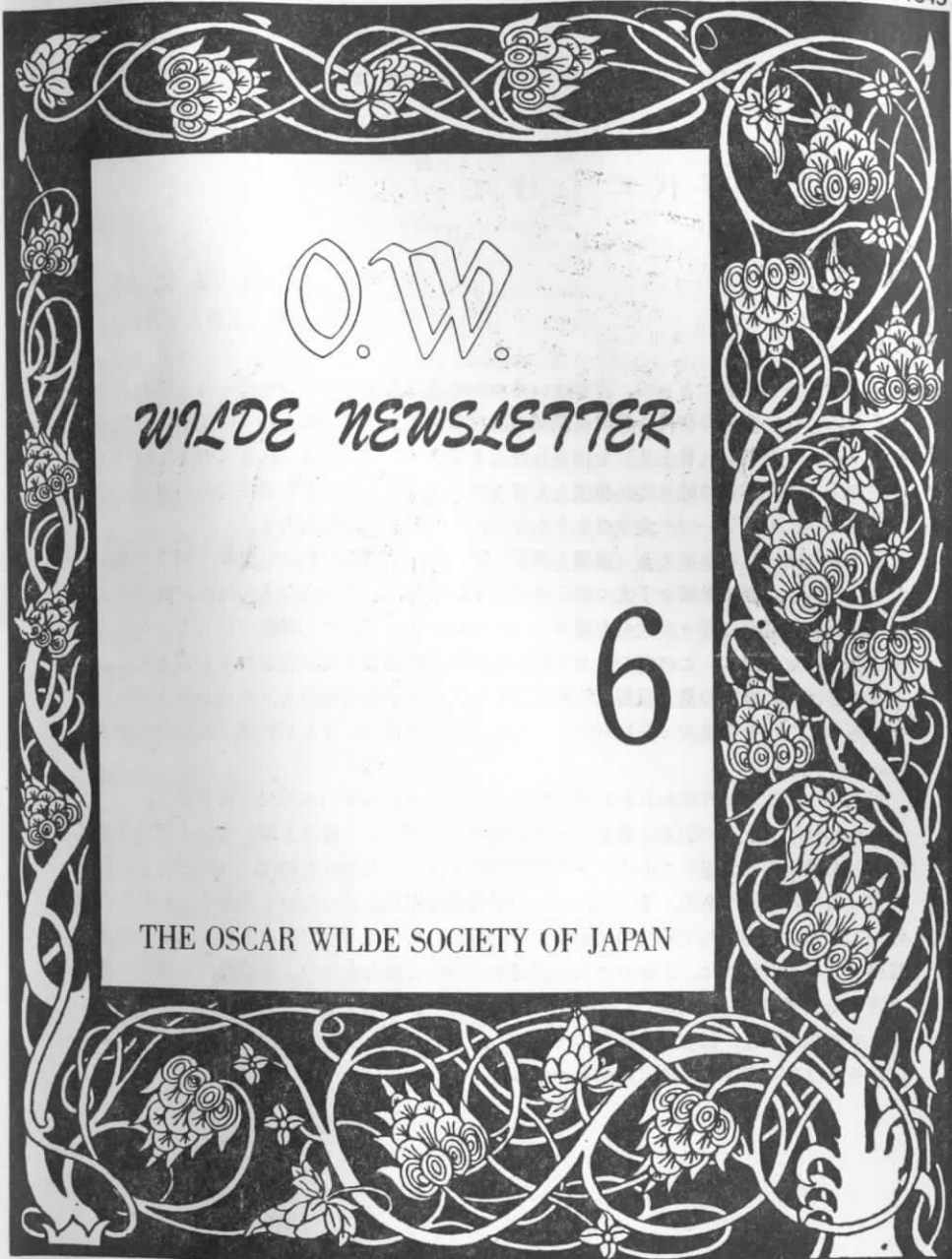
人を中心とした21世紀の街を目指す
神戸ポートアイランドに新しいツインビル。
世界に開かれたコンベンションシティにふさわしく、
先端の情報を携えた人々が集い、情報がゆきかう新しい施設の数々。
ファイブスターの名門ホテル、リッツパルセロナと
ハード、ソフトの両面で提携しました。しなやかで、
洗練されたこころ配りが育む、日本の新しいホテルです。

ファッションライブラリー
サロン・デル・リプロ(15F)
ミュシャの版画を飾ったライブラリー
のあるサロンには、ファッション・服
飾関係本をはじめ、世紀末芸術関係図
書も数多く収納しています。

HOTEL GAUFRES RITZ
KOBEPiA

ホテルゴーフルリッツ
神戸 夙月堂 港島

ご予約 ☎(078)303-5555
お問い合わせ
ポートライナー市民広場駅下車 〒650 神戸市中央区港島中町6丁目1番



O.W.
WILDE NEWSLETTER

6

THE OSCAR WILDE SOCIETY OF JAPAN

(巻頭言)

九十年代にむけて

川崎 淳之助

(協会会長・立教大学教授)

日本ワイルド協会にとって、昨年はいくつかの点で大変意義深い年だったと思われる。その一つは、協会の初代会長で現顧問の西村孝次先生が先生にとって決定訳とも言うべき『ワイルド全集』（青土社）を出されたことである。この訳はこれまでの先生のワイルド研究とその訳業との総合的な集成とも言うべきものであり、その意味でわが国におけるワイルド学における一つの金字塔をうち立てたものと言えるであろう。

もう一つは、秋の年次大会（講演と発表）が、昨年はじめて東京を離れ、関西で開かれたことである。園田学園女子大の堀江珠喜さんを中心に、大阪大の玉井暉氏、神戸外大の山田勝氏など関西の方々の方が大会を盛り上げたものとしてくれた。率直に云って文句なしの大成功だったと思う。この場を借りて開催校の園田学園女子大に感謝の意を表したい。

三つ目は、現理事の荒井良雄氏の提案で日本ワイルド協会資料センターが設立されたことである。これを明星大・井村研究室に置くことを井村君江さんが快諾され設立が決まった。

以上三つのことが昨年われわれ協会にとってとくに意義深いものだったと思う。

われわれは、上記の訳本に象徴される西村ワイルドの息の長さや厳しさに、改めて多くのことを教えられた思いである。また関西でのワイルド大会の成功は、一つの新しい時代を告げるゴスペルである。若い人たちの力が現実を作りはじめたからである。われわれは若い人たちを主力として協会の活動をより活潑に行きべきであると思う。さらにまた資料センターの設立は、今後の各自の研究を、そして協会全体のより有機的な運営を可能とさせる前提の一つが出来たことを意味すると思う。

九十年代にむけ、以上のことをふまえて、協会のため少しでも役に立つことが出来れば、それは新会長としての私の望外の望みである。

目 次

(巻頭言) 九十年代にむけて	川崎淳之助	1
ワイルドと美術		
第10回夏期セミナー講演要旨	河村鏡一郎	3
今日におけるワイルドの美的世界		
第10回夏期セミナー講演要旨	堀江 珠喜	5
第10回夏期セミナー・シンポジウム要旨		
特集『オスカー・ワイルドと美術』		
Ut pictura poesis	吉田 正俊	6
装いの哲学——ワイルドの芸術論の一形態として——	河内 恵子	8
ワイルドとホイッスラー——詩と絵画の領分をめぐって——	玉井 暉	10
Wilde as a Critic of Arts	井村 君江	13
海外通信		
Wildeの残り香	井村 君江	14
世紀末女性の変身願望		
第13回秋期講演要旨	山田 勝	16
オスカー・ワイルドのウィット		
第13回秋期研究発表要旨	木村 克彦	18
ワイルドと私——ひとつの自分史——		
第13回秋期講演要旨	西村 孝次	20
西のワイルド学会ちょっといい話	堀江 珠喜	21
ワイルド書誌	岩永 弘人	21
協会・会員消息	深澤 清	23
昭和63年度夏期セミナー、秋期講演会記録		26
日本ワイルド協会規約		27
編集後記	千葉 剛	28